

# 春先の蜂群の衛生管理を徹底しましょう

梅の花も咲きはじめ、ミツバチが活動を始める時期になりました。春の本格的な活動時期に向けて、衛生管理の徹底をお願いします。

## ①疾病対策

腐蛆病、ダニに対する予防対策として、投薬法があります。現在日本でミツバチに対して承認されている動物用医薬品は次のとおりです。適切に医薬品を使用して病気を予防しましょう。

| 疾病名     | 原因 | 主成分     | 使用期間  | 使用禁止期間                            |
|---------|----|---------|-------|-----------------------------------|
| アメリカ腐蛆病 | 細菌 | ミロサマイシン | 7日間   | 投与中・投与後14日間は、食用のハチミツ等採取することができない。 |
| バロア病    | ダニ | フルバリネート | 6週間以内 | 食用のハチミツ等採取している期間は使用できない。          |
|         |    | アミトラズ   |       |                                   |

## ★動物用医薬品を使用する際の注意★

ハチミツは直接人の口に入る食品です。ハチミツ中に動物用医薬品が含まれないよう使用説明書を確認し、使用禁止期間、使用上の注意を守ってご使用下さい。また、医薬品を使用したら使用記録の帳簿をつけて保管しましょう。

【帳簿の記載項目一覧】

- ①使用年月日 ②使用場所 ③医薬品の名称 ④対象群数・管理番号  
⑤用法・用量 ⑥出荷可能年月日



## ②衛生管理

アメリカ腐蛆病の原因菌 (*Paenibacillus larvae*) は、芽胞を形成する細菌です。通常の細菌に比べ、熱・乾燥・消毒薬に対する強い抵抗性を示すため、使用器具等は以下の方法により消毒を行います。

- ①火炎消毒: 水洗→乾燥後、ガスバーナー等で火炎
- ②消毒薬による消毒: グルタルアルデヒド 1%溶液に20分浸漬

### ★消毒を実施する際の注意★

- ・消毒薬は、蜜蝋等の汚れ(有機物)を取り除いてから使用してください。
- ・消毒薬は、各商品の使用方法に則って使用して下さい。
- ・消毒後は、水洗を十分に行ってください。

## ※平成28年度腐蛆病発生状況

今年度、山梨県内では腐蛆病の発生はありませんでした。

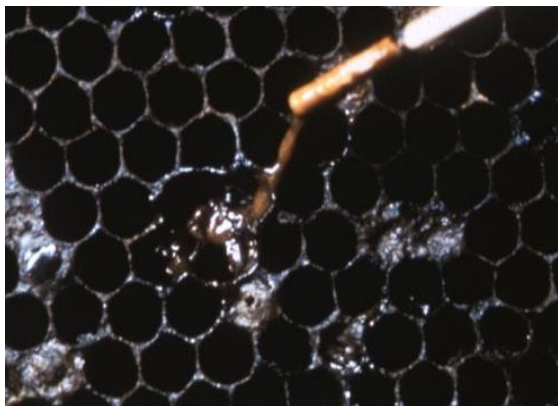
### 腐蛆病について

・腐蛆病とは、蜜蜂の蜂児における法定伝染病で、アメリカ腐蛆病とヨーロッパ腐蛆病の2種類があります。

#### 【アメリカ腐蛆病】

*Paenibacillus larvae*

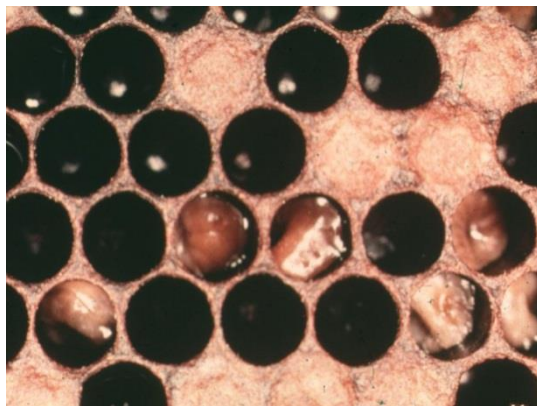
- ・有蓋巣房内で蜂児が死亡
- ・蓋は少し陥没し、蜂児は茶・黒色へと変化し、膠臭を発生し、粘稠性を帯び、糸を引く。



#### 【ヨーロッパ腐蛆病】

*Melissococcus plutonius*

- ・無蓋巣房内の4～5日齢蜂児が死亡
- ・蜂児は原型をとどめたまま乳白色又は灰黒色を呈し、潰すと水っぽく、酸臭を発生し、粘稠性は認められない。



※ミツバチに異変等があれば、当所まで御連絡ください。

山梨県西部家畜保健衛生所

韮崎市本町三丁目5-24

TEL:0551-22-0771

FAX:0551-22-6728